



↑熱戦を繰り広げる両市の選手たち。会場は熱気に包まれました。

姉妹都市間でしのぎを削る 剣道を通じて交流

8月28日、羽咋市武道館で藤岡市と羽咋市の剣道交流大会が5年ぶりに開催されました。両市の小中学生が小学生の部、中学生の部でそれぞれ団体戦、個人戦を行いました。

山辺市長は冒頭のあいさつで藤岡市との姉妹都市提携30年に触れ、「今年は節目の年です。この剣道大会を通じてさらなる交流を育んでほしい」とあいさつ。藤岡北中の須田彩乃さん、邑知中の川嶋光さんが並んで選手宣誓し、両市の子どもたちが日頃の練習の成果を競いました。

9月25日の姉妹都市提携30周年の記念式典に向けて、子どもたちが先陣を切り、両市の雰囲気盛り上げていました。

まちの声

読者のみなさんからの声をご紹介します。

寄せられた声

豆 パンの写真を見て豆パンが大好きだったおじいちゃんを思い出しました。そんなおじいちゃんのこと大好きでした。(40代・女性)

● 食べ物の力ってすごいですね。思い出の味など、食べ物に関するエピソードなどもお寄せください。

夏 休みの自由研究として子どもと土師神社について調べました。現地よく分からず困っていると、畑仕事をしていたご婦人が詳しい人を紹介してくれました。おかげで誇りある歴史を知ることができ感動しました。歴史と一緒に地元の人々の温かさも感じる事ができ、夏休みの思い出になりました。(40)

代・女性

● 誇りある土師神社の歴史について知ってもらうことができ何よりでした。困っているときの親切ってとてもありがたいですよ。今後とも温かい触れ合いを大切にしていきたいですね。

パン 好きの私は高崎や前橋、果ては東京までパンを買いに出掛けます。広報に掲載されたCOCOONさんはとてもすてきで、こんなに近くに好みのパン屋さんがあったことに驚きました。長く住んでいても知らないところがたくさんあり、藤岡をもっと知ってみたいと思いました。(50代・女性)

● 市内にはお店や自然など、まだまだ知らない魅力がたくさんあります。ぜひ探してみてください。

このほかり通のお便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただくことがありますのでご了承ください。

プレゼント

皆さんの声を募集します。本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。「まちの声」で紹介しします。

※個別の回答はしません

応募・問い合わせ ハガキかメールに住所、氏名、性別、年齢、電話番号、まちの声を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報広聴係「まちの声」応募係・✉hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

お便りをくれた人の中から一めんともやより食事券1,000円分を5人にプレゼント。応募締切は10月14日(金)当日消印有効です。

※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送をもってかえさせていただきます



食事券1,000円分
(藤岡西店のみ有効)

お酒のつまみから食事まで充実したメニューを提供しています。

県内に10店舗ほど構えるチェーン店ですが、フランチャイズ経営なので各店舗によってメニューや味が違います。ぜひ当店の味をご賞味ください。

らーめんともや

藤岡西店

藤岡市藤岡1372-1 ☎0258626

営業時間/午前11時～午前0時 無休

プレゼントの提供者を募集しています。秘書課広報広聴係☎02582208までご連絡ください。



nostalgic あの頃



住宅修理トラブルに注意!

Q 先日の台風で屋根の一部が破損しました。そんな時、住宅修理の業者が訪問してきました。「災害で破損した部分の修理を火災保険の保険金で修理できる。無料で調査し、保険申請も手伝う。自己負担は一切ない」と勧誘されました。信用できますか。

A 一概には信用できません。実際に受け取れる保険金が少なく、修理代金との差額が自己負担となるケースがあります。また、解約しようとする高額な解約料を請求されることもあります。業者の説明をうのみにせず契約している保険の内容を確認し、保険会社に相談することをお勧めします。修理する場合は複数の業者から見積もりを取り、慎重に検討しましょう。

消費生活の相談は消費生活センター

☎☎兼用②01133(来庁相談要予約)
相談時間 平日午前9時～午後4時



奉納相撲

年代：昭和50年頃
提供：市役所保存

↑40年ほど前、横綱の琴櫻関を招いた土師神社の奉納相撲。土師神社は相撲の祖といわれる「野見宿禰」を祭神としています。土師の辻は日本三辻の一つとして数えられ、同じくその一つがある羽咋市と姉妹都市提携をしています。

昔懐かしい写真を募集しています。写真はデータを保存してお返しします。
問い合わせ 秘書課(☎02208)

編集後記

数 年来「無沙汰だった読書」から美しい日本語に触れていなければ」と再開。老眼の進行も手伝ってなかなか読み進められませんが、読書の秋、10冊は読みたいと思います。(高橋)

う ちの女房天下一の意味という上州名物「かかあ天下」。そう称してくれる人が欲しいのですが予定もないので、みんなで天下(日本一)を目指しその称号を手にする企画に魅力を感じます。(黒澤)

桜 山が山開きします。毎年、紅葉と日本庭園がとてもいい雰囲気を出します。夜間のライトアップも幻想的で、昨年は表紙を撮るために真っ暗の中桜山にいたのを思い出します。一見の価値あります。(上原)

ケ ーキ屋さんになりたかった中学生のわたし。今は全く違った職業に就いています。が、当時、ケーキ屋さんを体験させてもらった記憶は大切にしています。(坂本)